
課題名：転移性脳腫瘍に対する定位放射線照射の遡及的多施設共同研究

◆研究の目的と概要◆

脳転移で定位手術的照射（stereotactic radiosurgery: SRS）もしくは分割での定位放射線治療（stereotactic radiotherapy: SRT）を施行された症例に対し局所効果・生存割合・有害事象などについて調査します。その上で、SRS と SRT の優劣性や全生存割合などの評価を行います。さらに探索的に予後因子や予測因子などの検討を行います。

◆対象となる患者さん◆

2013年1月から、2015年12月までの間に、脳転移に対して定位放射線照射が行われた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

治療機器、年齢、性別、原疾患、組織型、KPS、腫瘍最大径、脳転移個数、脳転移部位、出血の有無、周囲浮腫の有無、頭蓋外病巣の有無、定位照射開始日・終了日、定位放射線照射の総線量・分割回数、GTV体積、PTV体積、PTVに対するD95、GTV-PTV マージン、全脳照射の有無・投与線量・分割回数とその治療開始日・終了日、局所効果判定、有害事象、薬物療法併用の有無とその薬剤、生死の状況とその最終確認日

◆研究方法◆

上記情報を、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、事務局である国立がんセンター中央病院に送付し、解析を行います。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

大阪府立急性期・総合医療センター島本茂利医師が主体となり、全国のJROSG（日本放射線腫瘍学研究機構 <http://www.jrosg.jp/>）参加施設で実施しております。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

放射線治療科 研究責任者 板坂 聡

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明